



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 北日本紡績株式会社
 代表者名 代表取締役社長 仲治 文雄
 (コード：3409、東証第 2 部)
 問合せ先 取締役総務部長 西川 康一
 (TEL. 076-277-7530)

平成 29 年 3 月期 業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 5 日に公表いたしました、平成 29 年 3 月期業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期累計期間の業績予想数値と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	530	15	12	12	0.97
実績値 (B)	413	2	4	5	0.47
増減額 (B-A)	△117	△13	△8	△7	
増減率 (%)	△22.1	△86.7	△66.7	△58.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	402	6	1	5	0.41

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、従来、「売上高」及び「売上原価」に計上しておりました、取引先からの有償支給材料に係る代金は、平成 29 年 3 月期より「売上高」及び「売上原価」から控除する方法に変更いたしました。この変更により売上高実績値は 84 百万円減少しております。なお、この変更による利益に与える影響はありません。

繊維事業の受注状況は、産業資材用途向けが堅調であったことや開発案件の新規受注が決まったことにより受注は増加しました。上半期は生産効率の低下により減産いたしました。下半期については、前回予想を上回る生産量となり、1 年を通してほぼ計画のとおり推移いたしました。

環境事業については、当第 3 四半期において国内有数のホテルグループの濾過装置改修工事を実施いたしました。初期導入であるため効果を検証しながら営業活動を進めたことや、商品の機能・効能の周知に時間を割かざるをえなかったため、売上が伸び悩み、前回予想を下回りました。

利益面では、環境事業の売上減少により前回予想を下回りました。

以 上